



福利厚生概要と アドバイスへの活かし方

本稿では各ライフイベント発生時に使える福利厚生制度について、その概要と提案への活かし方を解説する。

ケース1~6 萩原 豊章 LLC人生羅針盤研究所 / ケース7・8 塚原 哲 生活経済研究所[®]長野事務局長・CFP[®]

ケース1

結婚 したとき

このとき使えるのは…

制度名 概要

**慶弔見舞金
(結婚祝い金)**

従業員やその家族の慶弔時についてお祝い金やお見舞金として支払われるお金。このうち「結婚祝い金」は、本人やその家族が結婚したときに支給されるお金

借上げ住宅

独身寮だけでなく、新婚夫婦が住める社宅を会社が用意してくれる場合がある

住宅手当

賃貸の費用や住宅ローンの支払いなど、住宅に応じて支給される

家族手当

配偶者や子どもなどを扶養している場合に支給される

「結婚」で使える 福利厚生制度を押さえる

慶弔見舞金

従業員やその家族の慶弔時に、お祝い金やお見舞金として支払われるお金である。

このうち「結婚祝い金」は、本人やその家族が結婚したときに支給される。結婚という人生の大切なお慶びごとなので、勤続年数によっても金額は1万円から10万円などまちまち。

なお、結婚お祝い品の場合もあるため、お客さまに就業規則を確認するように伝えたい。

家族手当

配偶者や子どもなどを扶養している場合に扶養家族に応じて支給される。

税法上の扶養配偶者として、給与収入が103万円以下（今後150万円以下になる場合もある）としているケースが多い。結婚していると家族手当が支給されるため、生活費としては助かる。

社宅で家賃が抑えられた分を
住宅取得費用として貯める

借上げ社宅

新婚夫婦が住める社宅を会社が用意してくれる場合がある。社宅費用は、自分たちで新居を用意するのに比べて安い。通常の賃貸の家賃の相場よりも、社宅費用のほうがかなり安いからだ。社宅で生活できる期間を確認し、社宅を出るまで、住宅購入資金を貯蓄することを提案するのもよいだろう。

住宅手当

賃貸の費用や住宅ローンの支払いなど、住宅費の負担を軽減するために支給される。世帯主であることや、持家の場合、本人名義であることなどの条件がある。家族構成などで金額が決まる場合と、一律で支給される場合もある。平均で約2万円だが、家賃の半額を支給するといったケースもある。